



NO.466

R8年6月1日

-発行-

〒869-1217

熊本県菊池郡

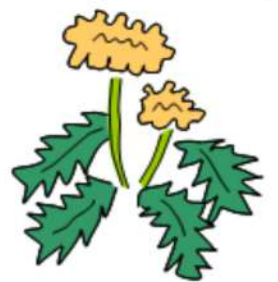
大津町森54-2

社会福祉法人

三気の会

三気の里

☎096-293-8100



令和7年度事業報告

(一部抜粋)

理事長 松田 健

地域交流活動では、区役や花植え活動に参加することができました。福祉まつりにもBETREEを中心として積極的に参加しました。地域交流会は実施できませんでした。

スタート会、夏祭り、運動会、もちつき大会等の行事も予定通り実施できました。特に開園記念祭では、多くの家族が参加していただきました。利用者支援を含めた施設運営への理解と協力が深まりました。レクレーションも定期的に実施することができました。コロナの影響も稀薄となりました。利用者の方はレクレーションを非常に楽しみにされています。帰園後の食事の観察も支援者が配慮してくれることにより体調不良者の早期発

見につながっています。快活に日々過ごされています。

福祉を目指す学生の実習生やボランティアの受け入れも積極的に進んでいます。しかし、実習システムが変わり、福祉系の学校からの実習生が大幅に減少しました。以前は三気の里を実習して就職希望する方が多かったのですが最近はその流れもなくなり、死活問題であると捉えています。過去にスタッフの母校を挨拶代わりに訪問し繋がりをもてるように取り組みましたが長続きせず頓挫してしまいました。

支援学校からの実習生も減少しています。就労系の施設での実習を希望されるからです。ニーズの変化は顕著です。福祉の流れは大きく変わりました。状況を理解し、対応できる施設しか生き残れないといわれています。

健康面では、コロナ、インフルエンザ、ウイルス感染症の発症が年度内に2回ありました。

誤嚥性の肺炎等により緊急通院する利用者もあり、急速な老化現象による身体機能低下などによる事故が危ぶまれる状態です。また、深刻な疾病を抱える利用者に対する緊急対応マニュアルの継続周知、AED救命救急講習、介護福祉士資格取得推進など利用者の高齢化に備えた、職員のスキルアップにも積極的に取り組むことが急務となっています。

園内活動の中核を占める作業では、製品が途切れることなく入荷されており、利用者の方が何もせずに過ごすことはほとんどありませんでした。職員が作業を見つけてきてくれます。頭が下がる思いです。5班においては単価のいい作業や利用者の

方が好きそうな作業に取り組んでおり、活気にあふれています。余暇活動(芸術)にも力を入れています。3班は、野菜の袋詰め作業が好調で大津町のストアに陳列されています。作業時のパーソナルスペースへの配慮があります。1班は他の班の作業製品も管理してくれています。散歩も意図的に多く取り入れています。2班のネットは地道ながら永年にわたってコンスタントに持続しています。治具の開発にも余念がありません。4班は高齢班です。仕事をすることに誇りを感じます。熱心です。いきがいととして仕事に励んでくれています。(BETREEに関しては稿を改めます。)





1班 「わかりやすいつて大切」

1班が皆で取り組んでいる作業製品は車の部品になります。毎朝、片道40分かけて納品、受け取りをしています。以前は数種類の作業に取り組んでいましたが、最近は同じ内容の作業がメインであり、皆で一日がんばり仕上げています。細かい話ではありますが、以前は皆さんが取り組んだ製品をスタッフが50個数えながらトレーに並べていましたが（数段重ね梱包）、昨年度末より受注先の計らいで皆さんが取り組みやすいようにとトレーを変更してくれました。トレーにマスがあり数えなくても入れていくと50個並ぶといったシステムです。今まではわかりにくさもあり、皆さんのやる気も今一つの工程でしたが、今では積極的に取り組む方が増えています。受注先に感謝するとともに、「やっぱりわかりやすいつて大切」と感じたエピソードだったので紹介しました。

支援員 園田 真紀

2班 「努力が実を結ぶ」

私たち2班は毎日みんなで「フルーツネット作業」に取り組んでいます。この作業は一つひとつの単価が安いので、目標金額に届かせるには、大変な根気と毎日の地道な積み重ねが必要になります。利用者さんは毎日、自分のペースで一枚一枚丁寧にネットを仕上げてください。私もその頑張る姿にパワーをもらい一緒に進んできました。そしてついに、目標だった「月2万円」を達成することができました。まさにコツコツと積み重ねた努力が実を結びました。毎日頑張った利用者さんたちの努力がこうして目に見える成果(収入)に繋がり、スタッフ一同、自分のことのように嬉しく思っています。これからも一人ひとりの「できた」を大切にしながら毎日の作業を笑顔でサポートしていきます。

支援員 中村 照美

3班 「息のあった二人」

新年度が始まってから早くも2か月が過ぎました。30度を超える日もあり。暑くなってきましたが、利用者の皆さんは、それぞれのペースで日々の作業に取り組み、野菜の袋詰め作業でも頑張る姿が沢山見られています。

そんな中、Aさんが『一緒にやろう』とRさんを誘い、作業が始まりました。Rさんは隣に静かに座り、Aさんから渡される野菜の袋を丁寧にコンテナへ並べていきます。お二人の落ち着いたやり取りから、日々積み重ねてきた信頼関係が感じられるひと場面でした。初めはゆっくりとしたペースでしたが、次第に二人の呼吸も合い、落ち着いた雰囲気の中で作業が進んでいきました。Aさんが袋を渡し、Rさんが丁寧に並べるという流れが自然とできあがり、お互いを気にかけてながら取り組む姿がとても印象的でした。

周囲の利用者さんもそれぞれ頑張っていて、作業室には和やかな空気が流れていました。日々の作業を通して築かれていく関わりや信頼関係の大切さを、改めて感じるひと場面となりました。

支援員 藤本 身知子

4班 「継続は力なり」

「散歩に行こう！」天気の良い日には利用者さんから提案があります。4月から5月にかけて絶好の散歩日和が続きました。園を出て田畑の広がる道を通ると心地よい風が吹いています。グループホームの前を歩いて園に戻ってきます。「ただいまー」「ひだまりまで行ってきたよ」「疲れた…」帰って来られた時の声は様々ですが達成感でしょうか、良い笑顔で麦茶をゴクゴク飲まれます。天気の悪い日は室内の廊下を歩かれるのですが距離にすると約1キロあります。作業のある日は毎日歩かれるので健康維持に繋がっているのか皆さん元気に冬を過ごして来られました。

これから程なく梅雨に入り、また厳しい暑さの夏がやってきます。外に出られる日が減ってきますが皆さんの体調や天気予報をチェックしながら「散歩に行きましょう！」そしてまた元気に夏を過ごしていきましょう！

支援員 芹川 久美



5班 「数年ぶりの短期入所にドキドキ」

コロナウィルスが流行ってから短期入所が遠のいていたAさん、今年度から数年ぶりの短期入所利用になりました。久しぶりの短期入所だったこともあり、三気の里での生活に慣れてもらうため日中一時を利用して夕食までの時間から練習をしていきました。ご家庭で過ごされる方にとっては集団での生活になる為、戸惑いもあるかと思えます。練習をしていくうちに過ごす場所に慣れていき、一日の流れを少しずつ分かっていかれたように感じます。いざ、短期入所になるとほぼ初めての場所で寝ることに戸惑いを感じていたようです。寝具も違う、音や匂い、普段と違うことばかりの中、頑張ってくださいました！まだまだ1日の流れに不安があるようなので、これからも少しずつAさんにとって心地よくなれるよう、気持ちに寄り添って一緒に頑張っていきます！

主任支援員 石原 佳奈

GW

「GW合同企画」

支援員 金丸綾子

グループホームでは、ゴールデンウィークの3ホーム合同企画「リフレッシュしよう会」として、テイクアウト&しようぶ湯を行いました。テイクアウトは、お好み焼き、モダン焼き、焼きそば、焼うどんの選択メニューでした。利用者の方で、すぐに選ぶことができたり、「どれにしようかなあ」と好きな料理に迷って選べなかったり…。お好み焼きと焼きそばが人気をあげていました。昼食時になりみんな美味しそうに食べられています。

います。

おやつは、プリンアラモード作りで、生クリームやマンゴー、モモ、サクランボを、それぞれ自分好みに上手にデコレーションして完成です。自分で盛り付けをしたのもあり嬉しそうに食べられていました。しょうぶ湯

では、ほんのりと良い香りが出てリラックス効果もみられるようでした。今年度、無病息災で過ごせることを願って…。利用者さんと相談しながら、次回も楽しく過ごせる企画を一緒に作っていきます。



陣内食堂

【寄付】

・大津JA女性部様

お米、物品等

・吉山一男様

もち米、からいも

・西田健一様…人参

・松岡美保子様…

スナックエンドウ、レタス

・木野多美子様…小豆、のり

・宮本喜代美様…春雨

・西郁美様…スイカ

・宮本陽子様…メロン

・山中美智代様

スナックエンドウ、漬物

・砂野光代様…ブロッコリー、

小豆、レタス、漬物

・居屋敷の里様…お土産

・米田真意子様…マカロニ

・坂野理恵様…マヨネーズ

・松田健様…マヨネーズ

・中村照美様…缶詰

・相馬敦様…

マヨネーズ、わかめ

【フードバンクより】

・JA熊本様…スイカ

・豊潤サジー通販様…サジーシユース

【VO】

・小嶋千尋様

・日吉美陽様

・斎藤隆浩様



療育雑記

「新しい宿題」

主任支援員 小城 崇

三気の里では月に一度、利用者の方はスタッフ引率のもと、給料外出に出かけられています。皆さんは日々の頑張られた結果として得られたお給料で、それぞれ好きな物を購入されます。特に多いのは、午後の時間帯にマイクロバスで三気の里を出発し、コンビニでおやつ購入を行う場面です。この時の皆さんは好きなお菓子、ジュース、アイスクリームなどを購入されます。この文章を書いている数日前の夕方のニュース番組内で、昨今の中東情勢から、石油から得られるナフサ(ガソリンに似た透明な液体で、石油から生成される石油製品のひとつ)の供給不足が影響し、ポテトチップスのパッケージが変更になるという内容が扱われていました。専門家の方に言わせると、ナフサは不足していないとの話もありますが、

今回はニュース番組内の情報を基に書かせて頂きます。私にとっては、今まで何も考えることなく購入していたポテトチップスという商品ですが、その番組内で紹介されていたパッケージを見ると、今まで目にしてきたカラフルなパッケージが白黒のツートンカラーのパッケージになっていました。見慣れたものが変わることで、物珍しい感じにも見えます。早ければ5月の下旬から変更されたパッケージの商品が店頭に並びということでした。場合によっては、6月の給料外出から利用者の皆さんは目にする機会が出てくるかもしれません。

しかしながら、利用者の皆さんにとってはこの白黒のパッケージはどう映るのか、いくつか考えられることがあります。一番考えられることとしては、ポテトチップスであると認識できな可能性が挙げられます。印字されている文字の意味、文字の形でポテトチップスと認識されている方には問題ないと思えますが、パッケージの色で認識されている方にとってはどう

でしょうか。見た目が今までと異なることで、今後は購入をしなくなるという可能性も考えられます。中身がポテトチップスであると分かりやすく説明するためには、一度購入して、袋を開けて、今までと中身は変わらないということを直接見てもらう必要もあるかと思えます。人によっては、このような説明を行ったとしても、今までのパッケージとは違うということでもポテトチップスではないと感じられ、説明を受け入れることができない方が出てくる可能性もあります。あくまでも今現在考えられることですので、別の反応をされる方もいらっしゃると思います。

「百聞は一見に如かず」。昔からある言葉ですが、視覚的な情報は皆さんにとっては分かりやすく、様々なものごとを理解してもらうためには必要なものであると日々の支援の中で感じています。白黒のパッケージを見て利用者の方にどのような反応があるのか、そしてその反応やご本人さんの特性からどのような準備、支援が必要になるのか。視覚的な情報をどのように活かし、どのようにしたら利用者の方が今までと同じようにポテトチップスを購入することができるのか。白黒パッケージのポテトチップスが店頭に並び時、そして皆さんが目にする時、恐ろしくもあり、興味深い時でもあります。

このように、今まで無意識であったポテトチップスのパッケージ一つをとってみても、利用者の方は何を基準にものごとを認識しているのか、改めて考えさせられます。当たり前だったものが当たり前ではなくなることが、どれだけ皆さんに影響を及ぼすのか。そして、私たち支援員がその変化や反応に対してどのように対応をすると、今まで通りにスムーズに行動(今回の場合ですと買い物)ができるのか。ナフサ不足によるポテトチップスのパッケージ変更のニュースは、私たち支援員に新しい宿題が課されたように感じました。

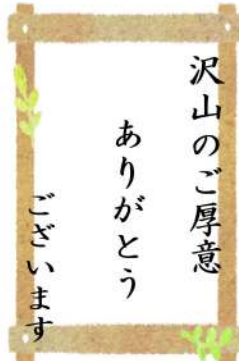


6月スケジュール

- | | |
|------------------------------|--|
| 02(月) かくたつ研修 (2日目) | 18(木) 嘱託医来診 |
| 04(木) アンパ創作活動 | 19(金) リハの日 |
| 05(金) 芸術クラブ | 22(月) 健康診断 |
| 08(月) 4班5班レクリエーション | 24(水) 音楽の日・1班レクリエーション |
| 09(火) 苦情解決第三者委員会 | 27(土) イベント・保健師健康指導 |
| 11(木) ゴールドクラブ | 毎週月曜日 訪問理容サービス |
| 13(土) 三気の里家族会・
チャリティボーリング | 毎週水曜日 BeTREE役場販売
BeTREE
<営業時間>9:30~17:30 |
| 17(水) GHワックスがけ | |



- 【寄付物品】
- 魚谷 秀文様
清田 栄一様
櫻木 勇夫様
金森 保様
中村 秀隆様
松村 俊介様
米田 孝一様
井上 優様
渡邊 正司様
田中 満子様
井手 上昌子様
東坂 富士代様
米村 秋江様
井上 ちえ子様
上田 タキ子様
坂梨 清美様
井上 律子様
小牧 博則様
- 【寄付】
- 三気の里 家族会
林 千莎子様



- 【後援会ありがとうございます】
- 井口 雅博様
亀崎 幸久様
赤星 央子様
- 今池 隆則様
金森 保様
牧野 慎也様
森川 マサミ様
柴田 精三様
岩本 ヒサ様
山室 誠弥様
渡邊 正司様
吉田 憲司様

編集後記

6月といえば高校総体。テレビや新聞で高校生たちの熱戦を見るたびに懐かしい気持ちになります。

数えてみると、私の最後の高校総体から18年。ついこの前のことのように感じますが、数字だけ見るとなかなか年月です。当時は朝から晩まで練習漬けでも平気だったのに、今では少し動いただけですぐに自分を褒めて晩酌が始まります。

とはいえ、年を重ねたおかげで体力と引き換えに経験や知恵も増えた、はずです。そう信じています。

梅雨空が続く季節ですが、高校生たちのひたむきな姿に元気をもらいながら、利用者の皆さまと一緒に楽しく毎日を過ごしていきたいと思います。季節の変わり目で体調を崩しやすい時期です。皆さまどうぞお身体を大切にお過ごしください。

田淵晃一